

【須賀川市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

「須賀川市教育振興基本計画2023」（計画期間：令和5年度～令和14年度）において、「基本施策Ⅱ-1 確かな学力の育成 (3) ICT教育の推進」において、主な取組を以下のように挙げている。

- ・ 国が推進するGIGAスクール構想に基づき、学校におけるICT教育環境の充実とその効果的な利活用の推進を図る。
- ・ ICTを効果的に活用した授業のあり方について研修会を実施し、デジタル教科書や教育アプリなどのより効果的な活用について教職員の理解を深める。

子どもたちがICTを効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実現し、主体的・対話的で深い学びにつながることにより、学習意欲が高まり、確かな学力を身につけることを目指す。

2 GIGA 第1期の総括

本市では、国が進めるGIGAスクール構想事業等を活用し、令和2年度から令和4年度にかけ市内全小・中・義務教育学校の児童生徒に学習者用1人1台端末を整備するとともに、学習系ネットワークを整備してきた。

教職員のICTスキル向上のため、ICT支援員を配置するとともにGoogle Classroom上で「教職員対象のICT教室」を開設し、令和6年度末の終了まで3年間で延べ287名の教職員が参加し、ICT活用のための情報交換を行った。また、夏季休業期間中にGoogle Workspaceの活用等の研修講座を設けるなどして研修の機会を確保した。

現在1人1台端末を活用した取組は日常的になりつつあるが、学校や教職員間でスキルや活用頻度に格差がみられることが課題である。

3 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用

これまで実施してきた市独自の研修講座を今後も充実させるとともに、福島県版ICT活用ハンドブック等の参考資料を活用することにより、教員のICT活用指導力の向上を図る。また、整備されたICTを利活用した教育の進展を支援するために、引き続きICT支援員を配置し、効果的な支援を図っていく。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

これまで活用を推進してきたGoogle Workspaceのアプリをより一層活用し、「個別最適な学び」や「協働的な学び」が実現するよう環境を整備する。特に、相互参照や共同編集のようなクラウドならではのよさを生かした学びができるよう、研修会や学

校訪問の指導助言等をとおして教職員のスキル向上を図る。

(3) 学びの保障

不登校や不登校傾向の児童生徒が教室以外（学校内の別室や適応指導教室、自宅等）でも充実した学びが保障されるよう、端末の持ち帰り等のハード面に加え、メタバースや探究学習コンテンツ等の情報提供を行い、ソフト面でも支援を充実させる。